

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 396 号	氏名	山口 博之
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	上平 憲	
	副査	吉浦孝一郎	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、肺癌患者におけるゲフィチニブの抗腫瘍効果を血清サーファクタント蛋白値によって予測しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 本研究では、進行非小細胞肺癌患者を対象にゲフィチニブを内服させ、治療前後の血清 SP-A、SP-D 値を測定し、治療効果や EGFR 遺伝子変異などの各種背景因子について解析を行っており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、治療前血清 SP-D 高値が EGFR 遺伝子変異群に多く、ゲフィチニブ治療後の良好な無増悪生存期間と有意に相関することが示され、ゲフィチニブの効果予測因子として血清 SP-D 値の可能性が示唆された。			
以上のように本論文は、肺癌治療の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			